

準備書面（17）

～平成8年の優生保護法改正後の
障害者に対する差別実態等～

準備書面（17）で主張していること

- 平成8年に優生保護法が改正された後も
優生思想，障害者に対する差別・偏見が残っている
→これを裏付ける社会的事件，差別実態を主張

準備書面（17）で主張していること

- 平成8年優生保護法改正後の差別・偏見の実態
 - ①法改正後も長く、人としての尊厳に対する侵害が続いていた
 - ②法改正後も障害者が権利主張できる状況になかった
 - 「社会通念上提訴は極めて困難」であるから
除斥期間は進行しない

大橋製作所事件

- 奈良県にある家具製作会社

元代表らが、元従業員（知的障害者）
に対し、障害年金横領、虐待、暴力を行
っていた。

平成19年（2007年）発覚

大橋製作所事件

- 元代表らによる横領

 - 元従業員らの障害年金を横領

 - 会社の運転資金に使った

 - 被害者は 11 名

 - 約 17 年間の被害総額は、

9000万を超える

大橋製作所事件

- 賃金不払い

元代表らは、元従業員らに、長期間、
ずっと賃金を支払わなかった

- 不払いの給与は、10人で、

合計約2億1182万円。

- 週末に3000～5000円の生活費のみ

大橋製作所事件

- 劣悪な生活環境

- 10畳ほどの1部屋が会社の寮

- ここで10人近くの従業員が生活した

- ・ 掃除ができなくて汚く，薄暗い

大橋製作所事件

- 繰り返される暴力

作業でミスすると、大声で暴言を吐く

頻繁に殴る，蹴る

→元従業員らは家族に打ち明けられなかった

...「言ったのがばれると，また殴られると
思っていた」

大橋製作所事件

- 弁護士らの支援を受けて裁判提起
→ 知的障害者を取り巻く **社会の無関心を明らかに**
今後、差別や虐待が起こらないように
- 原告の意見陳述

行政の首長等による差別発言

・地方自治体のトップによる差別発言等

平成11年，当時の東京都知事が重度障害者施設見学の際，「ああいう人ってのは人格あるのかね」と発言

令和元年，当時の福岡県みやま市長

「先祖の悪行は子孫の精神・身体障害，犯罪者の有無などに影響する」との文書配布

障害当事者に対する調査結果

- 平成20～21年の内閣府による
差別事例調査

8000件を超える被差別体験

医療，雇用，教育，交通，結婚等，社会生活のあらゆる場面での障害者が差別にさらされ続ける実態

- 日弁連による差別実態の調査結果も

グループホーム建設に対する反対運動

- 平成10年の調査では、過去10年間に全国でも少なくとも83件、107施設で地元住民の反対運動
- 令和元年の調査でも、過去5年間に、反対運動による障害者施設の建設中止等が68件

優生保護法改正後にも行われていた 優生手術

平成8年に強制不妊手術等を定めた優生条項削除
→しかし、その後も、自らの意思に反して強制不
妊手術をされた事例があった

- ・ Kさんの事例（50代男性）

平成15年、岩手県内の病院に入院中、家族から
退院の条件として不妊手術を求められ、医師もこ
れに協力した

- ・ 他、 Yさんの事例（平成27年）

近年の、優生思想に基づく障害者差別

- 津久井やまゆり事件（平成28年7月）
犯人の発言に共感する
インターネット上の投稿
- 座敷牢の発覚（平成29年）
平成30年にも兵庫県で類似事件
- 精神病院における虐待（令和2年3月）
- ALS患者囑託殺人事件（令和2年7月）

さいごに

- ・ これまでの差別実態， 社会事情から...

→ 今も優生思想および偏見・差別は社会に存在し続けている

→ 国が優生政策を続けたにも関わらず，
優生保護法改正後も，
優生思想や差別・偏見をなくす努力を
してこなかったから